



水源林県行造林衣川施業区 600 町歩



### 県営小山苗圃

県営小山苗圃

本県では毎年約4千万本の苗木が必要ですが、県内で生産されるのは約3千5百万本です。このうち県の予算で生産されているのは1千万本です。

県には小山苗圃を始め県営苗圃が5カ所ありますが、この中で、小山苗圃をモデル苗圃とする計画し、特に力を入れています。

# まず造林!!

岩手県の林政上、一番の重点は造林です。

県では本年三月「県有林条例」を定め、四〇年間に六万町歩を目標として県有林を育て、県財政たて直しのため、百年の大計を定めました。

この県有林とは県有懐籠林、水源林、部分村などで毎年一千町歩以上を造林する計画です。

## 水源林

本県には広大な荒廃林地があつて水害の原因となつていきます。このため、約一万三千町歩に対し、県では昭和廿五年から卅四年までの十年間に水源林を造成することになりました。そして、本年度までの五年間に五千三百町歩（従来からの県有地に対する水源林造成を加えると五千八百町歩）に及んでいます。

このまゝで造林して行くと、昭和卅四年までは目標の一万三千町歩の荒廃林地が立派な森林となります。

